

「さぬきの夢」品質向上栽培講習会

品質向上に向けた 今後の栽培管理

令和7年1月15日(水)

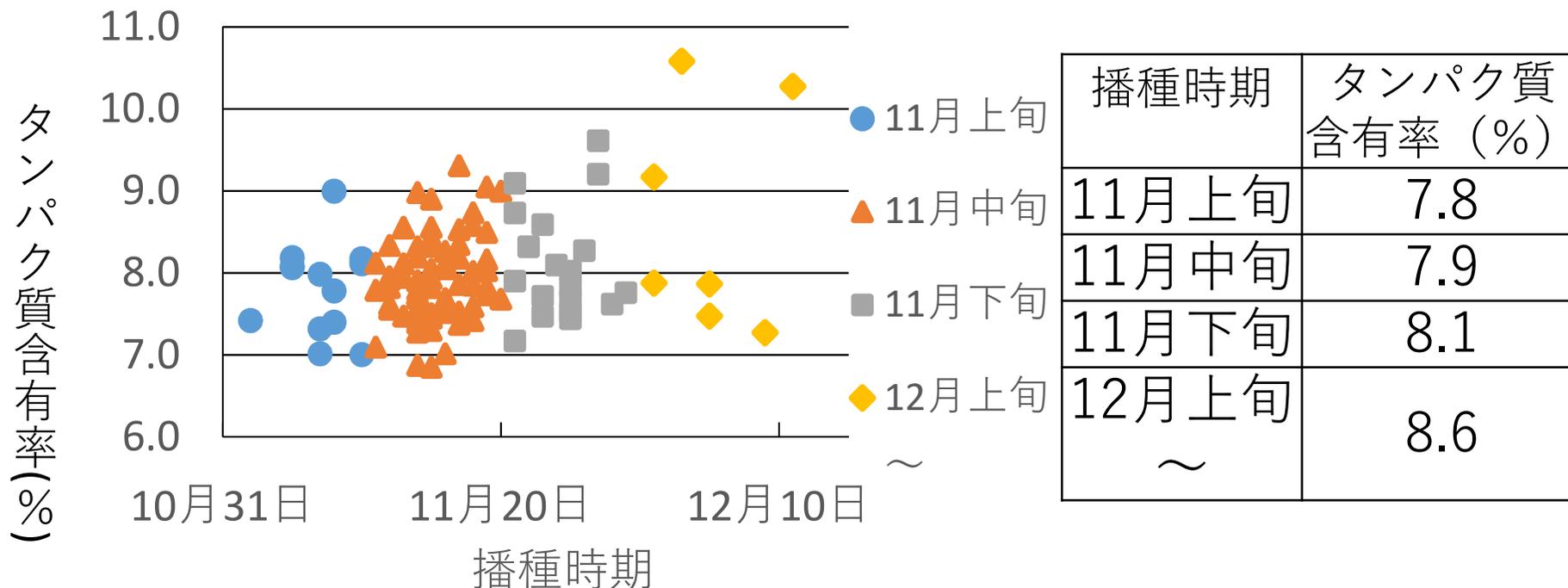
香川県農業経営課
農業革新支援グループ
三木 洋

小麦タンパク質含有率低下の主な要因

- 1 播種時期が早い
- 2 施肥量が少ない
- 3 追肥が行えていない
- 4 排水対策等が不十分

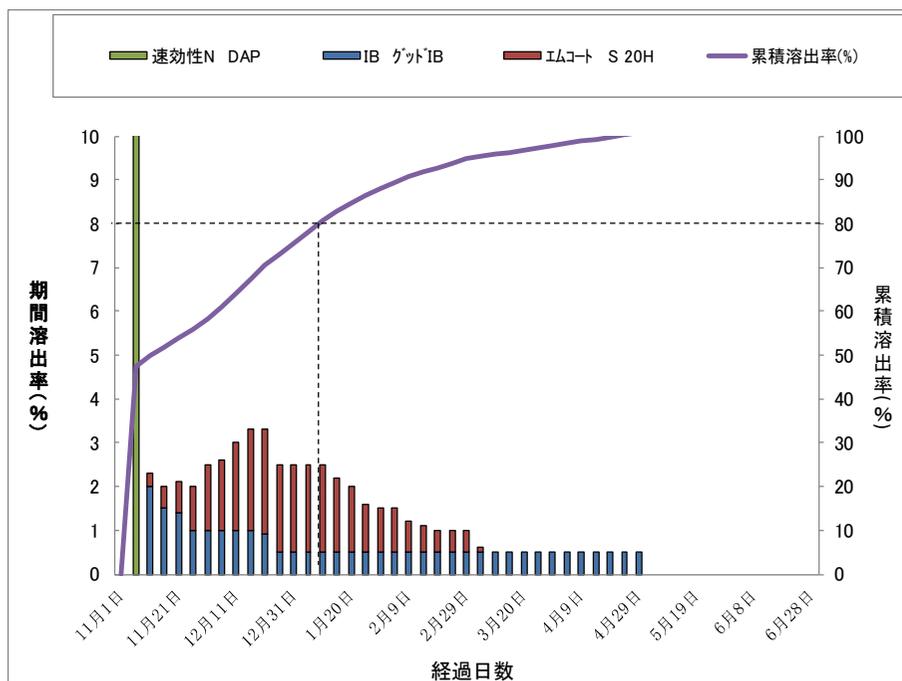
播種時期が早い

中讃農業改良普及センター管内での令和3年産調査結果から、播種時期が早いほどタンパク質含有率は低い傾向

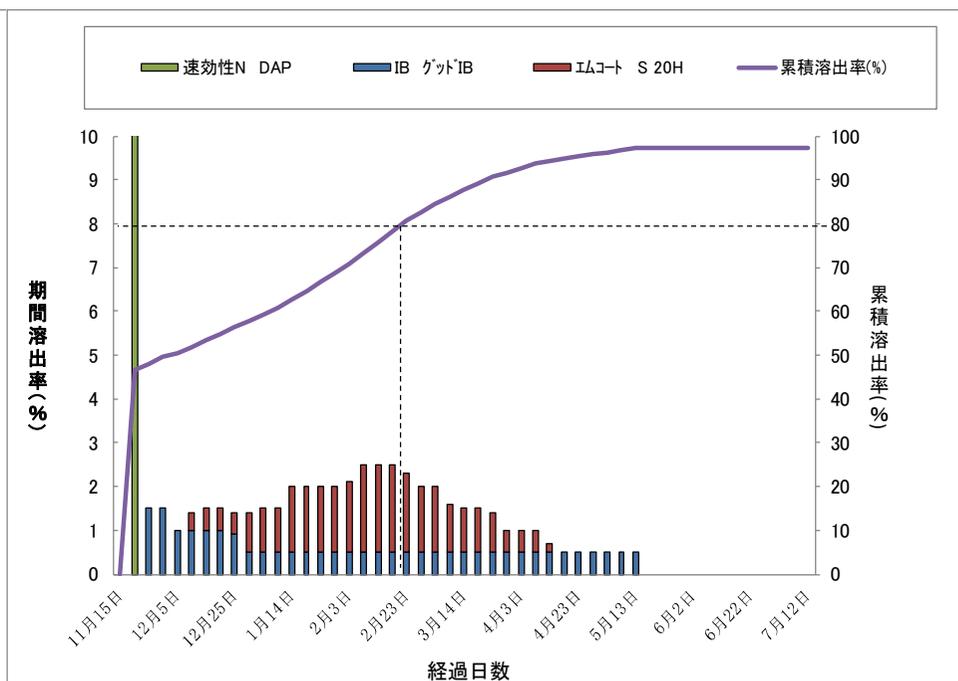


早播きすると小麦の初期生育が旺盛となり、生育後半に肥料切れし、葉色も薄くなることからタンパク質含有率が低くなりやすいと考えられる
～「栽培しおり」に基づく適期播種が重要～

1-② 基肥一発肥料溶出モデル(令和6年産)



11月1日播種(さぬきの夢一発)



11月15日播種(さぬきの夢一発)

資料提供:朝日肥糧株式会社(令和6年産滝宮アメダスより)

11月1日播種では約70日後(1月中旬頃)に、窒素成分の約8割が溶出

11月15日播種では約100日後(2月下旬頃)に、窒素成分の約8割が溶出

早播き小麦に基肥一発肥料を施用すると、緩効性肥料の溶出が早まり、早期の肥料切れ。その結果、タンパク質含有率の低下を招く恐れ

2 追肥が行えていない

令和2年産「さぬきの夢2009」栽培しおりから、基肥減肥・追肥重点体系を採用

<例1>基肥減肥・追肥重点体系(砂質田(水はけの良いほ場))

kg/10a

肥料名		全量	基肥	中間追肥 (1上~1中)	追肥 (2下~3上)	成分		
						窒素	リン酸	カリ
いずれか	硫加燐安402	80	35	20	25	11.2	8.0	9.6
	(朝日BB488)					11.2	6.4	6.4
	(PKセーブエコ488)					11.2	6.4	6.4
土づくり肥料		60~100	60~100					

注1)ほ場の地力、麦の生育状況等により、施肥量は加減する。

注2)遅播き(12月以降の播種)の場合は、基肥(35kg/10a)と中間追肥(20kg/10a)を合計して基肥として施用する。

注3)()内の肥料は低PK肥料のため、5年を目途に土壌診断を実施する。

<例2>基肥減肥・追肥重点体系(粘質田(水はけの悪いほ場))

kg/10a

肥料名		全量	基肥	中間追肥 (1上~1中)	追肥 (2下~3上)	成分		
						窒素	リン酸	カリ
いずれか	硫加燐安402	90	35	25	30	12.6	9.0	10.8
	(朝日BB488)					12.6	7.2	7.2
	(PKセーブエコ488)					12.6	7.2	7.2
土づくり肥料		60~100	60~100					

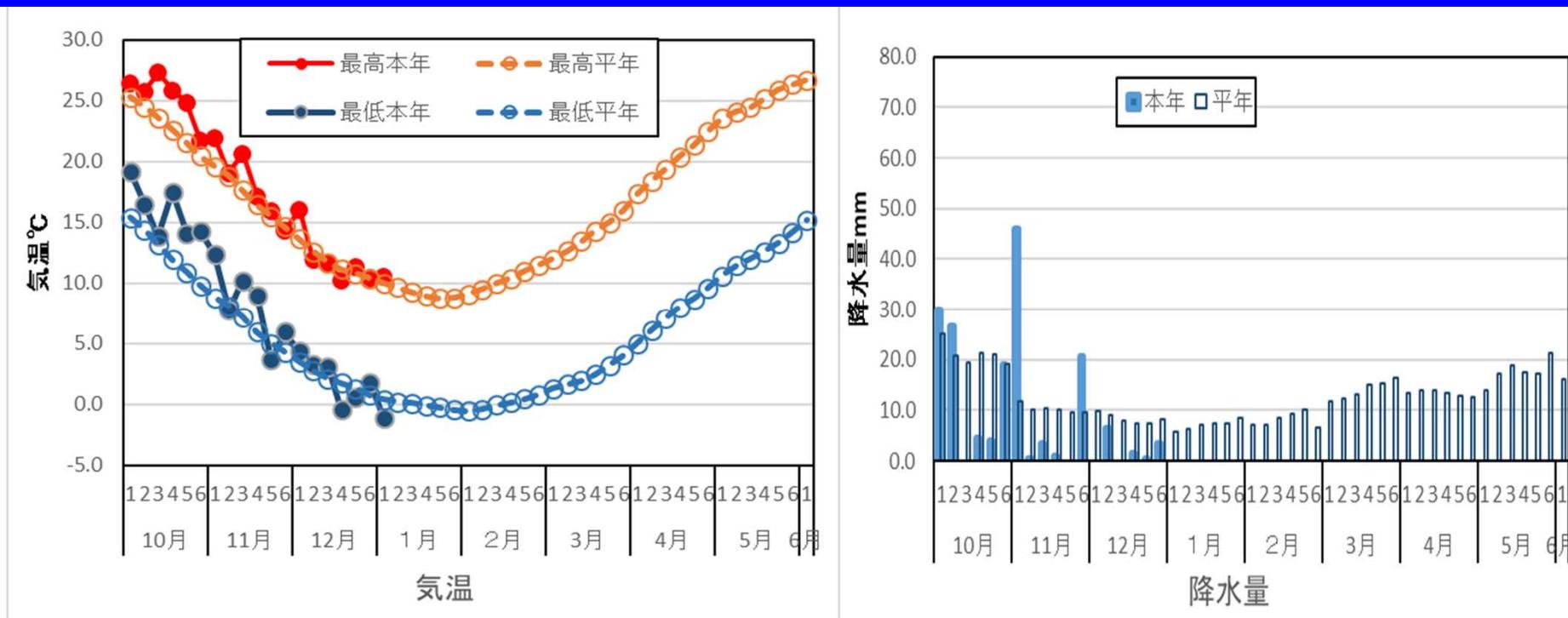
注1)ほ場の地力、麦の生育状況等により、施肥量は加減する。

注2)遅播き(12月以降の播種)の場合は、基肥(35kg/10a)と中間追肥(25kg/10a)を合計して基肥として施用する。

注3)()内の肥料は低PK肥料のため、5年を目途に土壌診断を実施する。

多雨年においても、排水対策の徹底による
ほ場の乾田化により追肥施用は可能!

令和7年産麦類生育期間の気象（滝宮アメダスより）



令和7年産麦類生育期間の気象と麦類生育等への影響

- 気温は播種適期の11月中旬以降平年並みで経過。その後、12月以降もほぼ平年並みで経過した（令和7年1月1半旬現在）。
- 降水量は10月、播種直前の11月初旬と11月末にまとまった降雨があった。特に11月末の降雨により、速効性肥料の流亡が懸念される。一方、12月中旬以降少雨で経過した（令和7年1月1半旬現在）。
 ~向こう3か月（1月～3月）の気温は「平年並みか高い」、降水量は「平年並みか少ない」~（令和6年12月24日発表）

3 追肥施用の目安（中間追肥）

- ・中間追肥時期（1月上旬～中旬）の目安（葉齢及び分けつ）
香川県農業試験場（綾川町）での「さぬきの夢2009」11月中旬播き結果から、
中間追肥時期の葉齢は4葉期程度です
4葉期頃は→1枚目（一番下の葉）から分けつが発生



○必ず葉齢等生育状況を確認し、葉色が濃い場合は減肥してください

～追肥後は肥効の持続などの観点から土入れ作業を行って下さい～

3-② 追肥施用の目安(追肥)

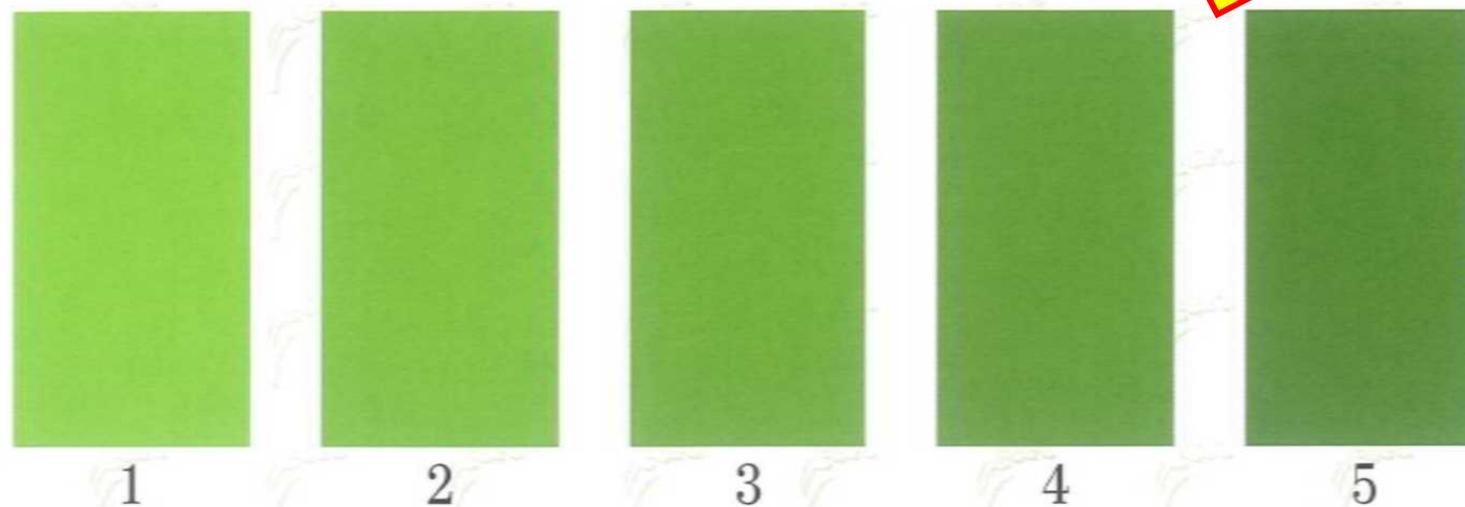
・追肥時期(2月下旬~3月上旬)の目安(葉齢等)

香川県農業試験場(綾川町)での「さぬきの夢2009」11月下旬播き

結果から、**追肥時期の葉齢は7葉期程度です**

7葉期頃は→節間伸長開始の前後です

葉色板の色の見本

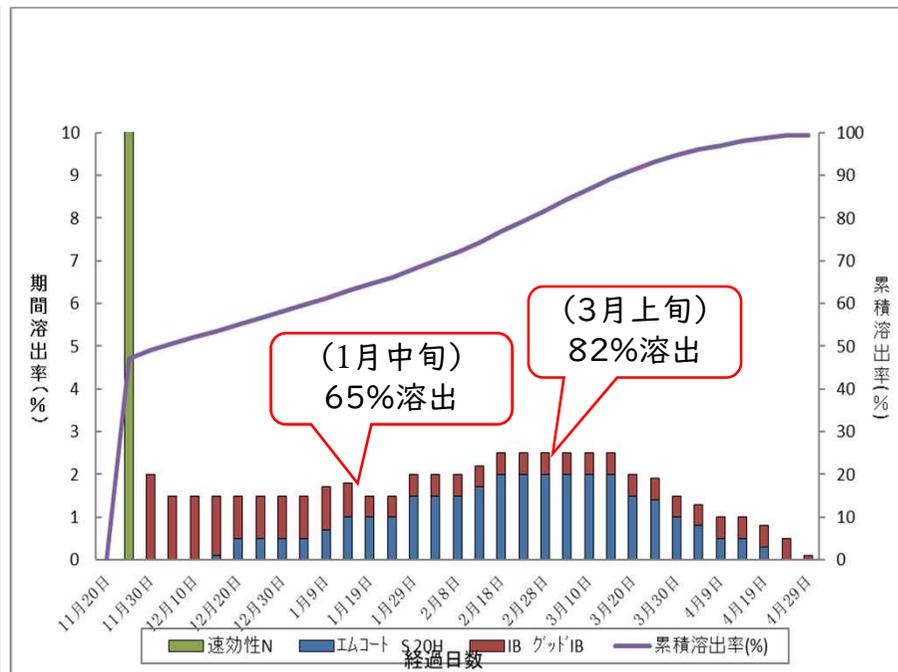
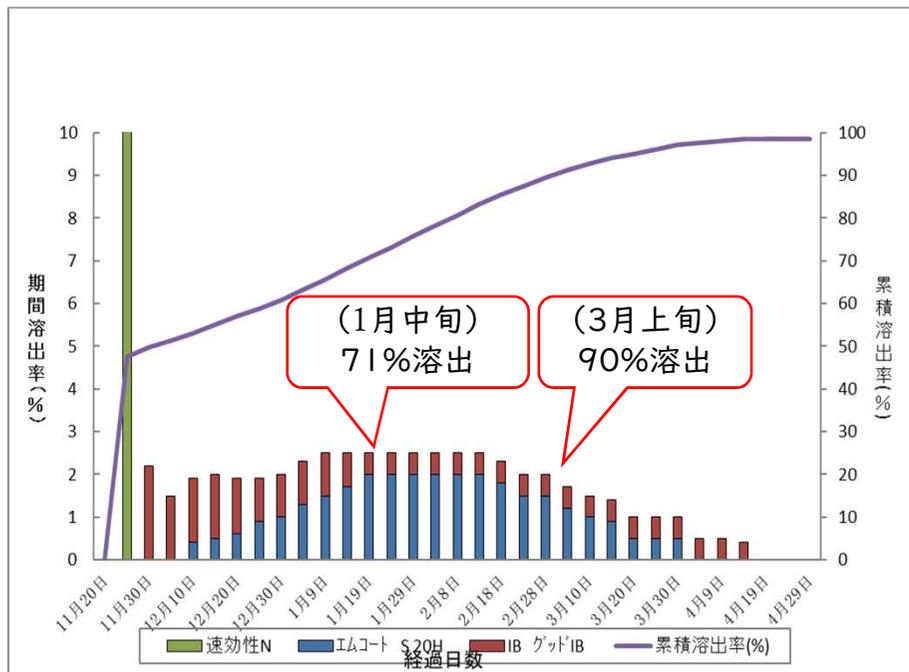


この葉色板の見本は、印刷のため、実際の葉色板の色とは異なる場合があります。

○必ず葉齢等生育状況を確認し、葉色が濃い場合は減肥してください

~追肥後は肥効の持続などの観点から土入れ作業を行って下さい~

3-③ 基肥一発肥料での追肥必要性



11月20日播種(多度津アメダス)

11月20日播種(滝宮アメダス)

資料提供:朝日肥糧株式会社(令和元年播~5年播 過去5か年平均)

1月10日現在、気温はほぼ平年並み、降水量は11月末の多雨を除き少雨で経過(基肥一発肥料において速効性部分の流亡が懸念される)

なお、早播きほ場、また、今後、暖冬・多雨傾向となり、追肥時期(2月下旬~3月上旬)に葉色が薄く草丈も短い場合(葉色か草丈いずれか該当する場合も)

※窒素成分で2kg程度(402化成で10~20kg程度)/10a施用
してください(今後の気象及び生育状況を必ず確認)

4 追肥後の管理（土入れ及び麦踏み）

土入れの効果 ⇒ 過繁茂の抑制や雑草防除、**倒伏防止**などに効果（特に種子栽培では倒伏させない栽培が重要）
追肥後（**1月上～中旬**と**2月下～3月上旬**）の2回程度実施し、1回目は少なめに、2回目以降は多めにします。土入れによって排水溝が深くなるため、湿害防止にも役立ちます。



麦踏みの効果 ⇒ **過繁茂抑制**や**倒伏防止**などに効果
○ほ場が十分乾燥した状態で実施する
○開始時期は1月中旬頃から（**葉齢4葉期頃**）
○終了時期は節間伸長開始前（2月中旬頃）



5 排水対策等が不十分



水稻収穫後の滞水



小麦生育期間の滞水

排水性の悪いほ場では、湿害による根の活力低下により、養分吸収阻害が発生

湿害による生育阻害が小麦の収量や品質の低下、さらには「**細麦粒**」の発生要因になります

**収穫期まで根の活力を維持させることがポイント
排水対策の徹底など基本技術の励行を！**

麦類赤かび病防除

- ・ 県外市場に流通した5年産県外小麦で、かび毒「デオキシニバレノール」が食品衛生法に定められた基準値を超えて検出される事案が発生しました。
- ・ 万一、健康被害が発生すれば、消費者や実需者の信頼を失う恐れがあり、香川県産麦類の生産振興にも大きな影響を及ぼす深刻な事態になります。
- ・ 麦類生産物の品質向上、また「食の安全・安心」の確保のため、「赤かび病」の防除対策を必ず行いましょう。
- ・ 薬剤防除の適期は、麦類の出穂や開花状況などを十分確認のうえ、1回目は開花始め、2回目は1回目防除の7～10日後の合計2回の防除を必ず実施してください。
- ・ さらに、適期収穫、収穫物の適切な保管管理も防除対策に重要です。

区分	防除時期	防除薬剤	希釈倍数	使用時期／回数
1回目	開花始め	トップジンM 水和剤	1,000～ 1,500倍	はだか麦:収穫30日前まで/ 出穂期以降は1回 小麦:収穫14日前まで /出穂期以降は2回以内
2回目	1回目の防除の 7～10日後	ワークアップ フロアブル	2,000～ 3,000倍	はだか麦、小麦:収穫7日前まで /3回以内



農薬を使用する際は、薬剤のラベルを御確認のうえ使用してください

中期除草剤

令和7年産「栽培しおり」掲載中期除草剤

薬剤名	対象雑草名	使用時期/回数	10a当り 使用量	散布方法・注意事項等
ハーモニーDF	一年生広葉雑草及び スズメノテッポウ	麦3葉期～節間伸 長前 (スズメノテッポウ5 葉期まで)/1回	5～10g	10a当り100ℓの水に溶き、噴霧機等で散布する。器具を使用後、速やかに消石灰水500倍液でよく洗浄する。 スズメノカタビラ、カラスノエンドウには効果が劣る。
エコパート フロアブル	一年生広葉雑草	節間伸長開始期ま で(一年生広葉雑草 2～4葉期) (ただし、収穫45日 前まで)/2回以内	50～100 ml	10a当り100ℓの水に溶き、噴霧機等で散布する。散布後、軽微な白斑・褐斑を生じることがあるが、その後の生育・収量に影響はない。 カラスノエンドウには効果が劣る。
バサグラン液剤	一年生広葉雑草 (イネ科を除く)	麦類(小麦を除く): 生育期但し収穫90 日前まで/1回 小麦:生育期但し収 穫45日前まで/1回	100 ～200ml	10a当たり70～100リットルの水に溶き、噴霧機等で散布する。 イネ科雑草には効果がなく、イネ科雑草が混在する場合はこれらに有効な除草剤との体系で使用する。 「はだか麦・大麦」は、使用時期が「収穫90日前まで」のため、散布時期に注意する。
MCPソーダ塩	一年生及び多年生広 葉雑草	麦類(秋播麦類):幼 穂形成期但し、収穫 45日前まで/1回	200 ～300g	10a当たり70～100リットルの水に溶き、噴霧機等で散布する。 分げつ抑制作用があるため、茎数が十分確保されてから散布する。 暖かい日が続く時期に散布すると、除草効果が高い。

農薬を使用する際は、薬剤のラベルを御確認のうえ使用してください -12-

中期除草剤

中期除草剤雑草別効果の目安

除草剤・雑草名	ヤエムグラ	カラスノエンドウ	スズメノテッポウ	タデ
ハーモニーDF	○	△	○	△
エコパートフロアブル	○	△	—	△
バサグラン液剤	○	△	—	○
MCPソーダ塩	△	○	—	△

注) ○:効く △:多少は効く —:登録なし



ヤエムグラ



カラスノエンドウ



スズメノテッポウ

農薬を使用する際は、薬剤のラベルを御確認のうえ使用してください

ネズミムギ・カラスムギ防除

ネズミムギ、カラスムギ

水稲作付や夏季の2か月以上の湛水により
発生量が低下

麦類播種前の非選択性茎葉処理剤
+播種後の土壌処理剤の体系処理



ネズミムギ



カラスムギ



基本技術の励行により
小麦品質向上をお願いします
ます